

結城市へ100万寄付

ふるさと納税で入学祝金

関東道路



小林市長(右から3人目)が武藤代表(左隣)に感謝状を手渡した

これに対し小林市長は「これからの結城市、そして日本の未来を担う子どもたちが健やかに、そしてそれぞれ個性に合わせた成長が図れるよう活用させていただく」とお礼の言葉を述べた。

関東道路(筑西市、武藤正浩代表取締役)は、企業版ふるさと納税を活用し、結城市に100万円を寄付した。この寄付に対し3日、小林栄市長から武藤代表へ感謝状が贈られた。同市への寄付は2011年から続けており今回で16回目。寄付金は、学校教育課で実施する入学祝品支給事業に充てられる。結城市役所で行われた感

謝状贈呈式では、市長をはじめ幹部が出席。関東道路側も武藤代表のほか、武藤理沙取締役、営業部の武藤正晃氏が同席した。寄付に当たり武藤代表は「未来をつくっていくのは子どもたち。そのために何か役に立てれば。私たちの会社も、市と共存して地域貢献できるよう、これからも頑張つてまいりたい」とあいさつ。